

令和 8 年 7 月 2 日

一般国道477号(能勢町倉垣) 道路復旧に向けた取組状況(第2報)

～道路防災ドクターによる現地調査・診断～

一般国道477号(能勢町倉垣)において、6月3日に発生した道路損壊について、別紙のとおり、近畿地方整備局の道路防災ドクター制度を活用し、道路防災ドクターによる現地調査・診断を実施しましたので、その診断結果についてお知らせします。

池田土木事務所では、本日の診断結果を踏まえ、早急に対策を進めて参ります。

大阪府池田土木事務所 維持保全課

【担当】 出川、伊藤

TEL (072)752-4111(内313、348)

道路防災ドクターによる現地調査・診断の結果

○今回の事象の原因について

- ・現地の被災状況及びボーリング調査の結果から、大雨の影響により、雨水・山体からの地下水(湧水)が盛土内へ浸透し、盛土と浸透性の低い岩盤の境界付近の強度低下によって崩壊したと推定できる。

○今後の対策について

- ・検討工法として挙げている補強土壁等の対策については、雨水・盛土内に浸透した水を適切に排除できるよう慎重な対応が必要であり、現場状況に応じた対策工法を検討すること。

○対策後の維持管理について

- ・対策後の排水効果を検証するために、地下水位のモニタリングを検討することが望ましい。

なお、今回の診断結果については、本日現地調査で得られた情報に基づくものであり、今後の調査等の新たな情報などによって診断結果が変更となる可能性があります。

※道路防災ドクターとは

災害等により損傷した施設等の調査・復旧方法や道路施設の機能保全に必要な対策および管理計画等に関する指導や助言を頂く高度な技術や専門知識を有する学識経験者

https://www.kkr.mlit.go.jp/road/maintenance/kyouryou_dourobousai.html

【現地調査の状況】

